

城と城下

大溝を歩く

JR湖西線近江高島駅を降りると、そこは、今から約400年前にあった大溝城や城下町の名残を感じながら散策することができる適地となっています。

大溝城跡(①)は駅の東側に所
在し、天正6年(1578)に織
田信長の甥である信澄によって築
城されました。縄張り(設計)は、
知将の明智光秀とされています。
天正10年、信長が光秀に攻められ
本能寺で自害すると、光秀の娘婿
であった城主の信澄は、織田信孝
と丹羽長秀に大坂城で襲撃され自
害。

信澄が去った後、大溝城主は
代々替わり、天正13年(1585)
には京極高次が城主として入り、
浅井三姉妹の次女 お初さんと新
婚時代を過ごしたと言われています。
この頃の話は、水上勉著作
の『湖笛』に取り上げられていま
す。これ以後、大溝城は廃城され、

その部材については、甲賀市の水
口岡山城に移されたといわれてい
ます。

次に、駅から東の方へ移動する
と、高島市民病院の駐車場の横に
新しく屋根瓦を葺き替えた分部神
社(②)が鎮座しています。同社
の周辺が大溝藩の藩邸の中心部で
す。ここから西方にかけて家臣団
の屋敷地が藩主の菩提寺である圓
光禅寺(③)まで広がっていま
した。こうした陣屋の北町通りに面



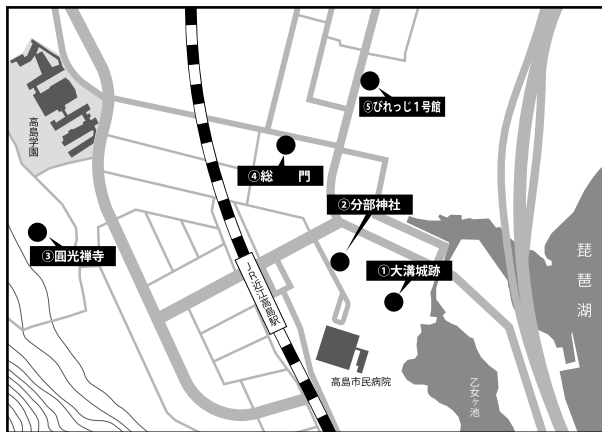
して総門(④)が設けられ、今も
現存する藩政時代の建物として保
存されています。

総門から北側と東側には町人町
が区画されていました。大溝湊周
辺には、六軒町・長刀町・船入町・
江戸屋町などが町名として残って
います。北側の町人町については、
本町・中町・西町・伊勢町・石垣
町および新町があります。町名の
由来は町ごとに設置されている観
光道標に記されています。本町の
通りには、古民家を利用した再生
民家が軒を連ね、びれっじ1号館
(⑤)から8号館まで誕生し、各
館の特色を活かした活動を展開し
ています。

大溝城跡や大溝城下の散策に
は、びれっじ1号館に「たかしま

まちづくりセンター」が開設され
ていますので、そこで情報収集し
城下歩きをするのが、お勧めです。

高島歴史民俗資料館
(36) 1553



催しのお知らせ

歴史勉強会

「大溝城跡周辺散策・大溝城を語る」
日時 10月13日(日) 小雨決行
14時~16時
(集合) JR近江高島駅構内
場所 城下・びれっじ1号館
参加費 500円 ※申込必要
問・用 たかしままちづくりセンター
☎(36) 2011
月曜日休館

企画展

「水口岡山城
—四百年の眠りからいま目覚め—」
期間 10月12日(土)
~11月27日(水)
時間 10時~17時
木・金曜日休館
場所 甲賀市水口歴史民俗資料館
入館料 150円(小中学生80円)
問水口歴史民俗資料館
☎0748(62)7141

編集感

▼今号の特集では、先月新聞に大きく報道され話題となった上御殿遺跡から出土した短剣鑄型のことを取り上げています。歴史には疎い私ですが、地元高島市から、大発見があったということうれしい限りです。今後も新たな発見があるかもしれないと思うとワクワクしますね。▼表紙は、工事中の海老坂トンネルに朽木中学生が見学している様子。なかなか入れるような場所ではなく、貴重な経験をさせていただきました。完成が待ち遠しいです。(S)

